

農業

安房農業事務所



# 鵜澤 瑞貴

Uzawa Mizuki

平成29年度  
採用

## 異動経歴

H29年採用 夷隅農業事務所

R3年 安房農業事務所



## Q1 あなたが採用された職種の魅力について教えてください。

農業職は、主に現場で農家へ栽培・経営指導をする「普及指導」、新たな品種や栽培技術の開発・調査等を行う「試験研究」、農業施策を企画・立案する「農業行政」などの業務に従事します。様々な視点から千葉県の農業振興に携わることができる他、時には関係機関と連携した仕事を行えるのも魅力の一つです。また、千葉県は全国でも有数の農業県であり、入庁後すぐに産地育成に携われるため、やりがいのある職だと思います。

## Q2 仕事の内容とやりがいを感じる瞬間について教えてください。

私は普及指導員として、安房地域の野菜農家や集落営農組織に対して直接、栽培指導や経営指導を行っています。農家の方の困り事や担当地域が直面している課題に対して、関係機関と連携しながら改善策を見出し、解決できた時はやりがいを感じます。

## Q3 千葉県を選んだ理由を教えてください。

県内高校を卒業後、他県の大学に進学した際に改めて千葉県農業の魅力を知り、自分の生まれ育った千葉県の農業振興に少しでも貢献したいと思ったためです。

## Q4 職場の雰囲気について教えてください。

若い職員も多く、活気があり明るい職場です。業務を進める上で様々な疑問や悩みが生じますが、上司や同僚にいつでも相談できる環境が整っており、的確な助言を貰えるため、風通しの良い職場だと思います。また、農業技術に関する研修制度も充実しているため、農学部出身ではない私でも一から知識・技術を習得することが出来ました。

## Q5 仕事をする上で心掛けていることを教えてください。

上司やグループ員への報告・連絡・相談は徹底するようにしています。また、一人で考え込まずに他の職員に相談したり、全農やJA、市役所等の関係機関の方と一緒に活動することで新たな視点や知識が得られるので、農家だけでなく関係機関とも信頼関係が構築できるように常に意識しながら活動しています。

## Q6 仕事の中で難しく感じていることや苦勞したこと、大変だったことを教えてください。

大変だったことは、担当地域の集落営農組織に対して水田裏作での食用ナバナ栽培を呼び掛けた時です。栽培技術や経営収支モデルが無い所からスタートした為、営農組織に受け入れられるまでに全農やJAの方々と連携しながら必死に取り組みました。現在では徐々に栽培も定着しつつあり、栽培講習会や省力化技術の現地実演会等を通して持続性のある取組になるように関係機関を巻き込みながら活動しています。

## Q7 あなたの考える千葉県の魅力を教えてください。

自然が豊かで農林水産物が美味しいだけでなく、観光地が充実している所も魅力的です。

## Q8 休日や退庁後の余暇の過ごし方について教えてください。

自然が好きなので職場の同僚と釣りに行ったり、地域の収穫体験等に出掛けてリフレッシュしています。

## Q9 今後の目標や挑戦してみたいことなどを教えてください。

今後は様々な業務を経験し、幅広い知識を身に付けたいです。農業は地域ごとに栽培品目や規模が異なるので、その地域に適した指導ができる視野の広い指導員になりたいです。

## Q10 受験者へのメッセージをお願いします。

農業職の業務は多岐にわたり、様々な知識も同時に求められる難しい仕事だと思いますが、現場での面白さややりがいが多くあります。一緒に働ける日を楽しみにしています。

### MY SCHEDULE

- 08:30 出勤・メールチェック
- 09:00 関係機関（市町・全農・JA）との産地振興に係る打合せ
- 11:00 野菜栽培講習会資料作成
- 12:00 昼食
- 13:00 現地巡回及び枝豆栽培試験ほ場の生育調査
- 16:00 帰庁・生育調査結果取りまとめ
- 17:15 退庁

